

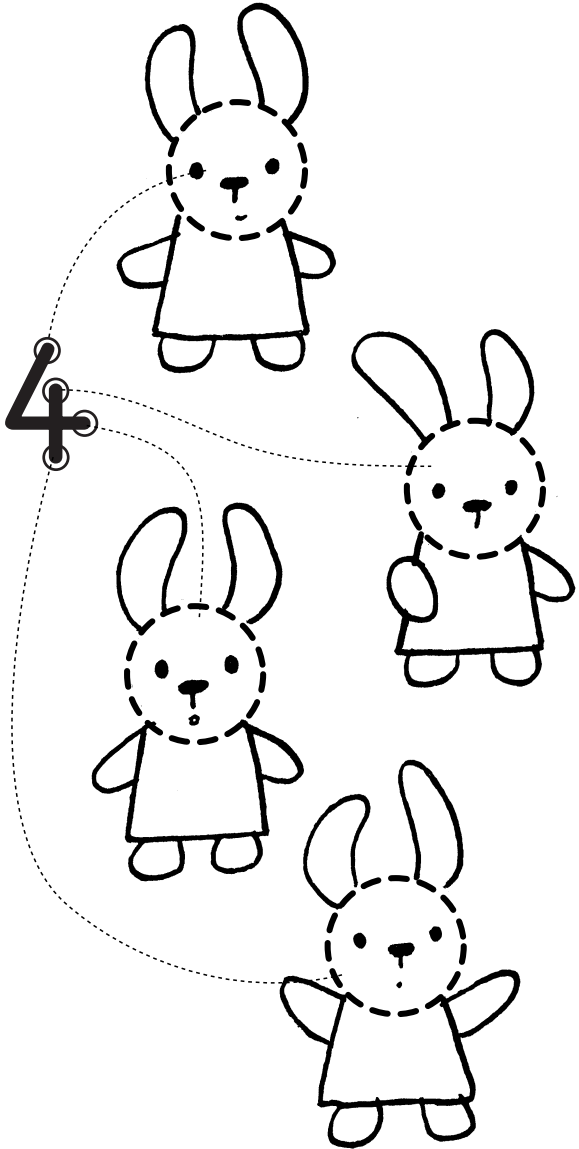
1) うさぎは四つ子でいつも4人だと話す。  
 2) うさぎの顔に玉を置き、「四つ子のうさぎでひとり合うのはどおぼいだろう」と、品物ごとに玉4個を1対1対応させ、合ったものが3だけという手続きを繰り返す。  
 3) 数えるだけで分かっていても、玉の操作をさせること。

a) 玉が計数の仲立ちをする。すなわち推移律「 $A=B=C$ なら  $A=C$ 」の「B」の働きを玉が果たす。  
 b) 数の理解の基本的な原理である1対1対応と推移律を「リミテッド」な形で体験する。  
 c) 和数詞「よっつ」の理解。

特定用具: 不要

Date:

たまをつかって  
 あうのをさがそう。



よつごのうさぎは  
 なんでも4つ。  
 ぴったりなのはどれだ？

